

栗見出在家町 魚のゆりかご水田協議会

滋賀県

平成29年度

地産地消等優良活動表彰

農林水産大臣賞

交流促進部門

「魚のゆりかご水田」による交流促進

栗見出在家町は、滋賀県が琵琶湖の環境保全のために進めている「魚のゆりかご水田」の取組を、かつての豊かな田園風景を取り戻すために、平成18年から本格的に実施している。同取組の最大規模の面積を誇る同町は、魚道の設置だけでなく、地域の子ども会や小学校児童に、魚道づくりや青空食事会への参加を通じた食農教育や環境教育を実践しています。収穫された山田錦から日本酒の開発や、地域伝承食文化である鮎寿司漬けの実施研修を実施しています。企業・大学・近隣の家族等への米作りオーナー制度の提供、大都市圏の中学生による農家民泊と農作業体験など、県外への発信と交流を地域一体となって進めています。



魚のゆりかご水田の恵み「鮎寿司漬け」づくり



水路に設置された魚道



地域の子供たちへの郷土食伝承